

# 「考える力を育てる問題」申込用紙

下の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、問題文と一緒にメールか郵送で送ってください。

締切：平成 28 年 1 月 9 日 (金)

申込日：12月3日

ふりがな 氏名	か さ い ゆ う 笠井 悠		
所属 (学校)	長岡市立豊田小学校		
学年	5・6年	教科 (○で 囲む)	国語, 算数, 理科
単元名	言葉を選ぼう テスト名「語感を豊かにするテスト」		
問題の見所	<p>問題作成に関しては、次の2点を前提とした。</p> <p>①「考える力を試す問題」ではなく、「考える力を育てる問題」であるからには、問題を解く過程で、「考える力」に結び付く気付きを得ることができる問題であること。</p> <p>②「考える力」の基になる考える方法を使ったり、自覚できたりする問題であること。そのうえで、この問題に関しては、内容や構成として次の特長をもつように意図した。</p> <p>①学習指導要領の第5学年及び第6学年の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の「語句に関する事項」「(カ) 語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつこと。」を対象とした問題である。</p> <p>②語感に関心を持ち、それを豊かにするためには、ある文におけるふさわしい語を、ある語と他の語を対比する思考が有効である。この対比こそが汎用的な思考方法であり、考える力に結び付く。</p> <p>③次第に問題の難度があがったり、問題を解いていくと先の問題が分かるようになっていたりする構成をとっており、考え方を学ぶ問題となっている。</p> <p>「考える力を育てる」という視点を重視するならば、国語辞典を使いながら解く活動や学級全体で対話的に解いていく活動も意義のある問題となっている。</p>		
出典 (必要な場合のみ)	問題作りの際に参考にした文献は次の通りである。 中村明『語感トレーニングー日本語のセンスをみがく55題』岩波書店 大野晋・田中章夫編『角川 必携国語辞典』角川書店 大野晋・浜西正人著『類語国語辞典』角川学芸出版		

# 語感を豊かにするテスト（五・六年生用）

1 次の①～③の文中に、ご飯・ライス・飯のうち、ふさわしい語を入れましょう。（一回ずつ使います。）

- ① 山盛りに「」をよそう。
- ② ステーキセットに「」を付ける。
- ③ 私は、朝食には「」とみそ汁が欠かせない。

2 次の①～③の文中に、ラッキー・幸運・幸せのうち、ふさわしい語を入れましょう。（一回ずつ使います。）

- ① 「」な勝利。
- ② 努力がむくわれて「」だ。
- ③ 私に「」が向いてきている。

3 次の文中では、それぞれア・イのどちらが、よりふさわしいでしょうか。丸をつけましょう。

- ① けん玉のわざを【ア 競う                   イ 争う】。
- ② マラソン大会で一位を【ア 競う                   イ 争う】。
- ③ どちらの考えが正しいのかを【ア 競う                   イ 争う】。
- ④ 足の速さを【ア 競う                   イ 争う】。

4 次の①～③の文中に、おれ・ぼく・わたしのうち、ふさわしい語を入れましょう。（一回ずつ使います。）

- ① 「」を助けてください。
- ② 「」が助けてやる。
- ③ 「」が助けてあげた。
- ④ ①～③をもとに、おれ・ぼく・わたしを丁寧な語の順に並べましょう。

5 次の①～⑤の文中では、それぞれア・イのどちらがよりふさわしいでしょうか。丸をつけましょう。

- ① 昨日の夕食はカレーライスだったと【ア 考える                   イ 思う】。
- ② お小遣いの使い道を【ア 考える                   イ 思う】。
- ③ アメリカに行ってみたいと【ア 考える                   イ 思う】。
- ④ 算数の問題を【ア 考える                   イ 思う】。
- ⑤ 「考える」と「思う」は、意味が似ていますが、ふさわしい場合とそうでない場合があります。使い分け方は、あれこれと比べて結論を出すのが【ア 考える                   イ 思う】、胸に一つの判断や希望をもつのが【ア 考える                   イ 思う】です。

6

次の①、②の文中に、ふさわしい語を入れましょう。その後、③に答えましょう。

- ① 次の【                   】には、ベッドと似た意味の語が入ります。
- ・ あのホテルのベッドは寝心地がよい。
- ・ あの旅館の【                   】は寝心地がよい。
- ② 次の【                   】には、「ホテル」または「旅館」が入ります。
- ・ あの【                   】のお料理はとてもおいしい。
- ・ あの【                   】のディナーはとてもおいしい。
- ③ 「ホテル」と「旅館」は、どちらも宿泊する施設を意味します。①と②をもとに、「ホテル」と「旅館」を使い分けるポイントを書きましよう。

7

次の①～④の文中では、それぞれア・イのどちらがよりふさわしいでしょうか。丸をつけましよう。その後、⑤に答えましよう。

- ① とび箱を【ア 飛ぶ                   イ 跳ぶ】。
- ② からすが空を【ア 飛ぶ                   イ 跳ぶ】。
- ③ ヘリコプターが【ア 飛んでいる                   イ 跳んでいる】。
- ④ 馬が障害物を【ア 飛ぶ                   イ 跳ぶ】。
- ⑤ 「飛ぶ」と「跳ぶ」は、平仮名で書くときはどちらも「とぶ」であり、意味も似ています。「飛ぶ」と「跳ぶ」を使い分けるポイントを書きましよう。

# 語感を豊かにするテスト（五・六年生用）解答

1 次の①～③の文中に、ご飯・ライス・飯のうち、ふさわしい語を入れましょう。（一回ずつ使います。）

- ① 山盛りに「 飯 」をよそう。
- ② ステーキセットに「 ライス 」を付ける。
- ③ 私は、朝食には「 ご飯 」とみそ汁が欠かせない。

2 次の①～③の文中に、ラッキー・幸運・幸せのうち、ふさわしい語を入れましょう。（一回ずつ使います。）

- ① 「ラッキー」な勝利。
- ② 努力がむくわれて「幸せ」だ。
- ③ 私に「 幸運 」が向いてきている。

3 次の文中では、それぞれア・イのどちらが、よりふさわしいでしょうか。丸をつけましょう。

- ① けん玉のわざを **ア** 競う。 イ 争う。
- ② マラソン大会で一位を「ア 競う。 イ 争う。」
- ③ どちらの考えが正しいのかを「ア 競う。 イ 争う。」
- ④ 足の速さを **ア** 競う。 イ 争う。

4 次の①～③の文中に、おれ・ぼく・わたしのうち、ふさわしい語を入れましょう。（一回ずつ使います。）

- ① 「わたし」を助けてください。
- ② 「おれ」が助けてやる。
- ③ 「ぼく」が助けてあげた。
- ④ ①～③をもとに、おれ・ぼく・わたしを丁寧な語の順に並べましょう。  
「わたし」 ↓ ぼく ↓ おれ 「」

5 次の①～⑤の文中では、それぞれア・イのどちらがよりふさわしいでしょうか。丸をつけましょう。

- ① 昨日の夕食はカレーライスだったと【ア 考える】。 【イ 思う】。
- ② お小遣いの使い道を【ア 考える】。 【イ 思う】。
- ③ アメリカに行ってみたいと【ア 考える】。 【イ 思う】。
- ④ 算数の問題を【ア 考える】。 【イ 思う】。
- ⑤ 「考える」と「思う」は、意味が似ていますが、ふさわしい場合とそうでない場合があります。使い分け方は、あれこれと比べて結論を出すのが【ア 考える】。 【イ 思う】、胸に一つの判断や希望をもつのが【ア 考える】。 【イ 思う】です。

6

次の①、②の文中に、ふさわしい語を入れましょう。その後、③に答えましょう。

- ① 次の【 】には、ベッドと似た意味の語が入ります。  
 ・あのホテルのベッドは寝心地がよい。  
 ・あの旅館の【 ふとん 】は寝心地がよい。
- ② 次の【 】には、「ホテル」または「旅館」が入ります。  
 ・あの【 旅館 】のお料理はとてもおいしい。  
 ・あの【 ホテル 】のディナーはとてもおいしい。
- ③ 「ホテル」と「旅館」は、どちらも宿泊する施設を意味します。①と②をもとに、「ホテル」と「旅館」を使い分けるポイントを書きましょう。

例 ホテルは洋風の宿泊施設に使い、旅館は和風の宿泊施設に使う。

7

次の①～④の文中では、それぞれア・イのどちらがよりふさわしいでしょうか。丸をつけましょう。その後、⑤に答えましょう。

- ① とび箱を【ア 飛ぶ】。 【イ 跳ぶ】。
- ② からすが空を【ア 飛ぶ】。 【イ 跳ぶ】。
- ③ ヘリコプターが【ア 飛んでいる】。 【イ 跳んでいる】。
- ④ 馬が障害物を【ア 飛ぶ】。 【イ 跳ぶ】。
- ⑤ 「飛ぶ」と「跳ぶ」は、平仮名で書くときはどちらも「とぶ」であり、意味も似ています。「飛ぶ」と「跳ぶ」を使い分けるポイントを書きましょう。

例 空中に上がり、その状態を一定の時間中、維持する動作が「飛ぶ」、はねあがり、ある物を超えた後、すぐに着地する動作が「跳ぶ」。